

第 17 期 pES club シナリオ 2

平成 30 年 2 月 12 日
聖路加国際病院 看護管理室/QI センター
池亀 俊美
東京北医療センター 総合診療科
南郷 栄秀
<http://spell.umin.jp>

あなたは海老伝巣医科大学附属病院の ICU に勤務する 3 年目の看護師です。多比宇蹴さん（82 歳男性）は大動脈弁狭窄症のため、来週月曜日に TAVI（経カテーテル大動脈弁留置術）を受けます。あなたは術後に入室担当看護師となる予定です。

金曜日の午後、術後および ICU についてのオリエンテーションのため、あなたは多比さんのお部屋を訪ねました。すると多比さんから、「2 週間前のカテーテル検査の入院の晩、目が覚めたら警報のような音がして、逃げなきゃいけないと思ったけど、いろいろな管が体についていて訳がわからなかった。ベッドから落ちそうになって。そのあと両手に大きな手袋をつけられて、思うように手が動かさなくて怖かったよ、はずして欲しいと何度もお願いしたけど、結局ダメだったよ。今度もそんなことされるのかなあ。嫌だなあ」と訴えました。

その日の夕方、心臓血管外科の術前カンファレンスに出席したあなたは、同科の医師から「心臓カテーテル検査の時に、（多比さんが）せん妄になって大騒ぎだった。今度は TAVI だし、点滴や酸素の管、尿道留置カテーテルを自分で抜いてしまうかもしれないから、きちんと抑制しておいてよ」と釘を刺されました。

あなたは多比さんが抑制されることを嫌がっていることを思い出し、何とか抑制せずにすむ方法がないか考えました。そして、ICU の医療機器の作動音やアラームの音、医師や看護師の話し声などがうるさくて眠れないことが多比さんのせん妄を引き起こしているようだから、耳栓を使用すればせん妄が起きなくなるかも知れないと思いつきました。先輩看護師に相談すると、「おもしろそうね、耳栓ならそんなに高くないし、やってみたら？でも、効果があるかどうか先に調べてみなよ」と言われました。

そこであなたは、耳栓が本当にせん妄予防に役立つのか、早速調べてみることにしました。